

地域再生計画(汚水処理設備交付金)事後評価調査

都道府県名	広島県	事業実施主体	尾道市	地域再生計画名	尾道市「快適に暮らせるまちづくり」計画
計画期間	平成27年度～平成31年度	評価責任者	尾道市地域再生計画評価委員会 会長 尾道市立大学 経済情報学部教授 荒井 貴史		

	指標		基準値		中間目標値			最終目標値		事後評価	最終目標値の実現状況に関する評価	
			基準年度		年度	中間実績	基準年度	最終実績				
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	汚水処理人口普及率	40.8%	H25	48.1%	H29	49.4%	55.3%	H31	55.4%	○	浄化槽の設置基数の増加や、公共下水道により平原・竜王台・東新涯の3カ所の団地を取り込み供用区域になったことにより、最終目標値の達成が出来た。
	指標2	人口減少の鈍化	100.0%	H25	93.6%	H29	95.9%	91.6%	H31	93.9%	○	下水道・浄化槽等の整備による住環境の改善が、「尾道市まち・ひと・しごと総合戦略」に掲げる定住促進に寄与し、人口減少の鈍化につながった。
	指標3	放流水質の遵守	BOD≦20mg/L T-N≦20mg/L T-P≦2mg/L	H25	BOD≦20mg/L T-N≦20mg/L T-P≦2mg/L	H29	BOD≦4.8mg/L T-N≦10.1mg/L T-P≦0.8mg/L	BOD≦20mg/L T-N≦20mg/L T-P≦2mg/L	H31	BOD≦4.6mg/L T-N≦11.6mg/L T-P≦1.0mg/L	○	適正な運転管理の結果、目標値を上回る良好な放流水質となり、水環境の保全に寄与した。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1											
	指標2											
③事業の進捗状況	事業名		整備量(その他の事業では取組内容)			事業の進捗状況に関する評価						
			計画	中間年度(H29)	最終実績							
特別措置を適用して行う事業	公共下水道事業(整備延長)		交付金 8,000m 単 価 3,500m 合計 11,500m	3,843m 2,025m 5,868m	7448m 6,007m 13,455m	5ヶ年の計画延長(国費対象)はL=8,000m、途中で軽微な変更により事業費の増額を行い整備の進捗を図ったが、国費対象の最終実績は7,448mで、計画目標を下回っている。しかし、単独事業の進捗を図り、全体延長(国費対象+単独事業)L=13,455mで、計画全体延長(国費対象+単独事業)L=11,500mを上回っている。						
	浄化槽事業(個人設置型)		2,500基	1,332基	2352基	5か年の計画基数2,500基で、最終実績は2,352基で計画基数を下回っている。これは、平成30年7月豪雨災害等の影響で、浄化槽の設置基数が伸びなかったことによる。						
その他の事業												
計画外で独自に実施した事業												
④評価方法	尾道市地域再生計画評価委員会で評価を実施											
⑤事後評価の公表方法	尾道市のホームページに掲載											
⑥計画全体の総合評価	事後評価において、計画に掲げている目標値を達成しており、成果が出ている。											
⑦今後の方針等	今回の地域再生計画において、汚水処理人口普及率が40.8%から55.4%に向上し、一定の成果が得られたが、全国平均と比べて大きく下回っている。今後、公共下水道は新たな目標設定を行い、管渠整備を促進するとともに、浄化槽事業においても尾道市独自の上乘せ補助金等により設置基数の増加を図ることで、更なる汚水処理人口普及率の向上を目指す。											